

平成 25 年度春季(平成 25 年 3 月～25 年 5 月) 営業概況調査 (結果)

伊勢・出雲の大遷宮や東京・富士山が人気、インバウンドも回復へ

平成 25 年 7 月 24 日

一般社団法人日本旅館協会では、昭和 39 年より会員の営業動向を把握する目的として、主要観光地（温泉地を含む）の会員を対象に春・夏・秋・冬季営業概況調査を実施している。今回からホテル部門と客室利用率調査を加えました。

①平成 25 年度（25 年 3 月～5 月）旅館部門の調査結果では、総宿泊単価、宿泊単価が東北・関東・中部・四国が前年比でプラスへ。北海道は宿泊単価がプラス。関西・北陸信越・中国が総宿泊単価を落としたが宿泊単価は増加。九州では総宿泊単価、宿泊単価ともに前年よりマイナスとなった。東北は復興需要で価格は伸びたが稼働率は依然として低い。稼働率では中国・北陸信越・関東・関西で前年を超えたが東北・北海道・四国では伸び悩んだ。

全国平均では総宿泊単価はややマイナスになったが宿泊単価と稼働率は上がった。大規模旅館は宿泊単価を伸ばすも稼働率は伸び悩み、中規模旅館は価格を下げるものの稼働率を伸ばした。小規模旅館の価格・稼働率が健闘したものの総宿泊単価はマイナスとなった。この春季は前半が寒い気候、桜の開花が遅れ観光客の出足が少なく、全般的に団体旅行や個人客が低迷、アベノミクス期待や円安効果でインバウンドがかなり戻ってきたが、ネット予約に期待している観光地の中小旅館が多くなっている。

総宿泊単価は 18,334 円で前年比 0.3%減、中部 1.0%増、四国 0.6%増、逆に中国 0.6%減、九州 1.9%減に
宿泊単価は 13,357 円で前年比 1.0%増に、関東 2.3%増、北海道 2.1%増、四国 1.8%増、中国 1.0%増、九州 0.6%減。

定員稼働率は 3 月 36.9%、4 月 31.9%、5 月 35.9%。前年比では北陸信越・関東・関西が高く、北海道・四国が低い。

客室利用率は全国で 69.5%、前年比 18.5%増で、客室利用率を定員稼働率で除すると 1 日 1 室当りの平均利用人数が 2.17 人となり年々下がる傾向。

規模別総宿泊単価は大規模 18,323 円、前年比 0.2 減、中規模 17,625 円 0.4%減、小規模 20,230 円 0.8%減
観光地別の定員稼働率は出雲湯の川、玉造松江、東山芦ノ牧、富士五湖、東伊豆が対前年比増、逆に、湯の浜温泉、飯坂穴原、知床ウトロ、湯田、琴平などが対前年比減の稼働率になっている。

②ホテル部門の調査結果の概要は、以下の通りである。

総宿泊単価は 7,545 円、前年比 1.8%増、北海道 27.7%増、関西 6.7%増に対し関東 5.0%減、中部 3.7%減。

宿泊単価は 5,375 円で前年比 0.3%増、北海道 27.9%増、関西 6.4%増で多くのブロックで減となる、かなり価格競争が見られるところ。対象となるホテル数が少ないので参考とされたい。

定員稼働率は 48.2%で前年比 4.3%増。

客室利用率は 72.3%で前年比 12.9%増、客室利用率を定員稼働率で除すると 1 日 1 室当りの平均利用人数は 1.5 人となる。

③当季の状況；北海道・東北は厳しい寒さに見舞われ、団体・個人客の伸び悩みや日帰り客がふえた。

原発事故の風評被害の影響から客足は戻りつつあるが元に戻った程度。伊勢神宮：出雲大社の大遍宮で中部、中国に観光客が増えた。

アベノミクスはほとんど効果なく各地で東京（スカイツリー・デズニーランド）や東北復興、九州新幹線に流れたところが多い。円安効果で各地に外国人が増えてきたが、逆に国内客の減少や依然としてインターネットで集客する間際予約と個人客が多く、団体旅行客の減少と価格競争で苦悩する状況が各地で起こっている。

④来季の予想；アベノミクス効果に期待する声が多いものの期待先行、インバウンドの増加を期待し、各種スポーツ大会・イベントによる集客に力を入れる観光地・都市が多い。来期予想は前年並みが半数で、上昇傾向・減少気味の回答はやや少なかった。世界遺産の富士山周辺は好影響の観光地が多く、東京に国内外客が集中しそうと心配する旅館も多い。電気・燃料コストの増加を懸念、小人数のお客増加による稼働率の低下を懸念するように団体客の減少はかなり深刻になってきた。

（アンケート発送旅館数 3,221 社 回答旅館数 385 社（内ホテル 55 社） 回答率 12.0%）

注）大規模旅館：客室数 80 室以上、中規模旅館：30～79 室、小規模旅館：29 室以下の旅館

総宿泊単価：3 ヶ月の宿泊料と館内販売等の総売上高を宿泊人数で除した金額

宿泊単価：3 ヶ月の 1 泊 2 食付き宿泊料及び室料の合計を宿泊人数で除した金額

定員稼働率：3 ヶ月の総収容定員数に対する宿泊人員の割合

客室利用率：3 ヶ月の総客室数に対する利用客室数の割合

問い合わせ先：

- | | |
|------------------------|--------------------|
| ・一般社団法人日本旅館協会事務局：中村・大熊 | ☎：03-5298-2270 |
| ・株式会社レジャー産業研究所 | ：横溝 ☎：03-3672-3248 |